

もみじ

-広島県山岳・スポーツクライミング連盟会報-



一般社団法人 広島県山岳・スポーツクライミング連盟

〒733-0011 広島市西区横川町2丁目4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail : hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL : <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

題字デザイン 今村みすほ

編集 西部伸也

本号内容

1. 2021年頭ご挨拶
2. クライミングスクール（11/29 三倉岳）報告
3. 登山教室（2年 12/6 天応鳥帽子岩山）報告
4. 正月大山報告とフォト俳句
5. 広島県および近辺のバックカントリースキー適地紹介①
6. 岳連短信（寄贈御礼、SC審判等資格更新研修会案内）

1. 2021年頭ご挨拶

（会長 山田 雅昭）

新年あけましておめでとうございます。

久しぶりに山には雪のある年明けで、皆様方にはうれしい正月を迎えたことと存じます。

2020年1月16日、日本で最初の新型コロナウイルス感染者が確認されてから、僅か1年間の世のあり様はどうでしょうか、また、そのときに今の状況を想像できた人がどれだけいたのでしょうか？

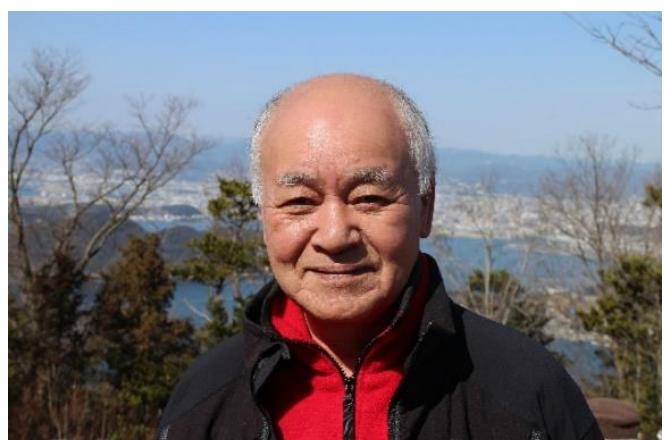
その後、国からの生活スタイル、イベント開催等に関する要請をうけて、3月からは岳連行事も比婆山国際スカイラン、韓国大邱広域市山岳連盟との交流、山の日県民の集い、県民ハイキングは中止。また、国民体育大会関係は、4月の広島県予選を中止したのをはじめ（選手は過去実績で選考）、続く6月の中国ブロック大会、10月の第75回鹿児島国体は史上初の中止となり、選手、監督、コーチ以下競技関係者にとって辛い年になりました。わずかに登山教室、クライミングスクールがコロナの感染状況を見ながら、日帰り単発で実施ということになりました。

今年は、岳連創立80周年にあたり、1年前から記念行事実行委員会を立上げ、この1月23日に「一般社団法人 広島県山岳・スポーツクライミング連盟創立80周年記念祝賀会」を予定しておりましたが、延期と致しました。

およそその登山行為では、パーティの中の一番体力のない人、登山技術の未熟な人に合わせる必要があるため、パートナーシップ、メンバーシップは最低限、「自分のことは自分で出来る事」が条件となります。

今、コロナウイルスという大きな時代の流れの中で、自分を見失わない、自分がコロナに感染しない、ということを心掛けられて、この世界的規模での新型コロナウイルス感染症を乗り切ろうではありませんか、また、山でお会いすることを楽しみに！！

年頭のご挨拶と致します。



2. クライミングスクール報告

（指導部長 森本 覚）

第5回 11/29(日)

山城：三倉岳 人数：受講生 7名

2020年度第5回クライミングスクールは三倉岳源助崩れにてモアイクラック、ラッキーネーブル下部をトップロープ、猫の悲鳴で下降器の下でバックアップを取りラッペル、同終了点で支点構築、セカンドビレイのロープワーク、午後からヒップクラック、ねずみ小僧下部をトップロープで登りました。

（指導部 塩田 徹）

【感想文】

（受講生 掛川 チヨエ）

4月に第1回のクライミング教室が始まった途端、新型コロナウイルス感染拡大防止のため自粛となり休止に。今回は全部出席しようと張り切っていたので少し気落ちしました。

9月に自粛解除になり、再開されるもなかなか参加する事が出来ず、最後の1回参加する事が出来ました。三倉岳の源助と呼ばれるところで、3つのルートを登る練習。

二人でクライム、ビレイを交替です。登るのに岩でつかめるところを探し、つい、手を使って体を持ち上げようすると、「まず、足を安定させてから」とのアドバイスをいただく。

なかなか最終点まで登ることが出来ませんが、前回よりも少しでも上に行けると、やはり回数を重ねることが大切と痛感する。

下降する人のビレーではロープを手繰る時、腕の動かし方、運びを教わり、スムーズに手繰る事が出来ました。

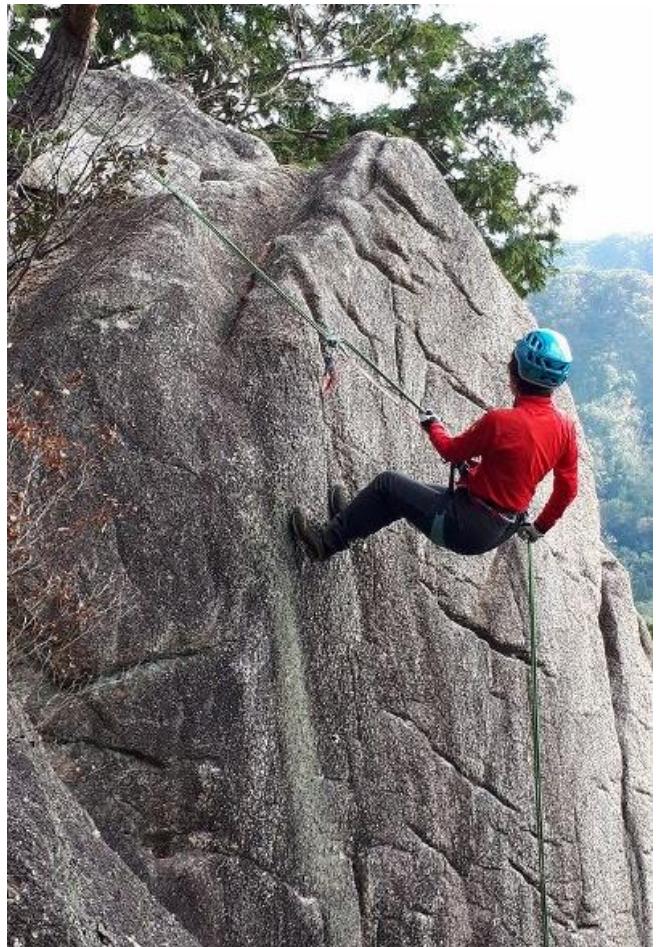
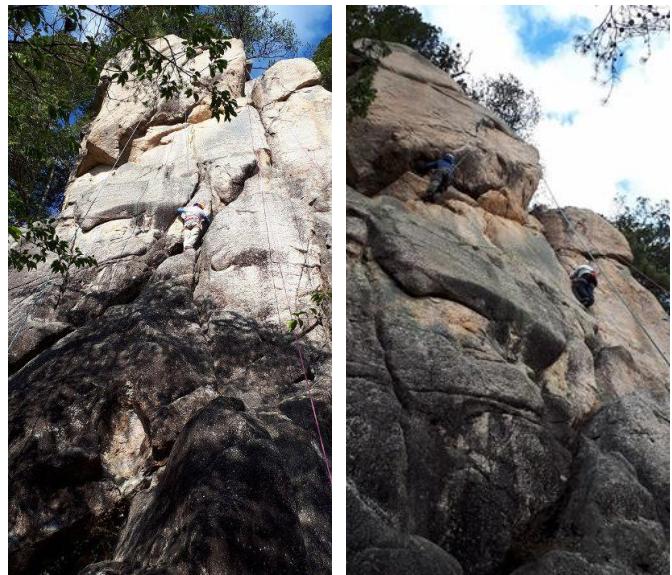
二か所のボルトで中間支点構築の時、今まで流動分散していたが、落下の距離が長くなり危険なため、今では固定にすると落下の距離は半分になると教わる。

懸垂下降では、まず、セルフビレー。ロープにスリングを半折れでセット、その上方で下降器をセットしてテンションがかかっている事を確認してから、下降をはじめる。

最後の一回だけの出席でしたが、凝縮した多くの事を学び参加して良かったと思います。

これからも、受講の機会があれば、一回でも多く参加したいと思います。

有難うございました。



3. 登山教室報告

(指導部長 森本 覚)

第4回2年生 12/6(日)

登山形態：日帰り山行

山域：天応鳥帽子岩山

人数：8名（スタッフ含）

今回は無積雪期のロープワークのまとめとして天応の銀座尾根を登りました。天気に恵まれ予定通りの行動ができました。（森本）

『山行を終えて』

(登山教室2年生 山根 厚介)

今回はマルチピッチという、今までまったく知らなかつたことを学ぶことができてとてもよかったです。またビレイについても、初めて実際にやってみることができて、ロープの重さや責任の重さなど、その大変さも少し垣間見ることができました。

これまで3回の岩稜歩きの中で、今回は一番恐怖感が少なかったです。回数を重ねて、ある程度は慣れてきたのかと思います。

しかし余裕があるとまではいえません。登っている最中もあまり周りが見えず、ついつい力任せに登ってしまいがちで、後になって振り返ると、「もっと楽に登れたのでは？」と思うことがしばしばです。せっかく普段ボルダリングをやっているのですから、もうちょっとよつとはスマートに動けるようになりたいと思います。

(以下写真提供 森本)



第6回1年生 12/13(日)十方山については、12月12日～令和3年1月3日まで実施された広島県・広島市「新型コロナ感染拡大防止集中対策」により広島市民へは、外出機会の削減のお願いがでましたので、それに従い、中止しました。

4. 正月大山報告とフォト俳句

(理事長 豊田 和司)

いそいそと山靴磨く年はじめ たわし

皆様あけましておめでとうございます。

私は、1986年から正月は毎年大山を行っています。最初はゲレンデスキーで、マツダ親和会山岳部長の長谷川忠彦さんが二代目の親分を務める FASS (Fuji Alpine and Ski School) の大山冬山合宿に参加したのがきっかけです。Fujii とは、この会の初代親分である広島大学の藤井教授で、教授を慕って集まったアウトドアを楽しむ連中の会が FASS なのです（と、私



は理解しています)。当時は大山大神山神社奥の院の社務所で宿泊、自炊しながら12月30日から1月2日までスキー三昧の生活をしておりました。宮司の秋吉氏が亡くなられてからは、麓のやまびこ荘を拠点にしておりましたが、雪の少ない年が続いたため、主力部隊は戸隠高原に移ってそのまま帰ってこなくなり、大山に通うメンバーは減少の一途をたどり、今年は三村君（県庁山の会、元マツダ）と私の二人きりでした。

大雪のため、大山にたどり着けるかどうかとも危惧されましたが、呉の自宅からの道中はしっかり除雪してあり、道後山の登りで少しヒヤヒヤしたほかは、快適にドライブし、5時間弱で大山に到着しました。積雪1メートル以上の大山は久しぶりです。3日に大山6合目まで行くことができました。

雪山は、膨大なH₂Oに覆われているのに、乾燥して清潔で静寂で、ある意味では砂漠に似ているのかも知れません。私はこの環境が大好きです。福山山岳会の江種さんを真似て私もフォト俳句にチャレンジしました。「たわし」は、私の俳号です。豊田和司（とよたわし）



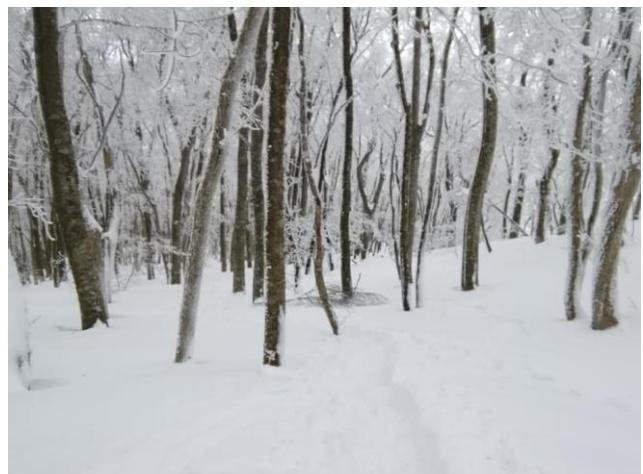
6合目にて



長谷川さんへの献杯も忘れずに



垣間見る下界ゆかしき初登山



木漏れ日に我を忘るる冬木立



やまびこ荘にて三村さんと



FASSのスキー合宿で利用していた大神山神社奥の院の社務所

5. 広島県および近辺のBCスキー適地紹介①

（事務局長 西部 伸也）

昨シーズンと打って変わり、今シーズンは中国山地でも豊富な積雪に恵まれています。正月休みにスキー／スノーボードに出かけた人もいるかもしれませんし、

これを機会にBC（バックカントリースキー／スノーボード、山スキー）をまたやってみよう、あるいは始めてみようと考えている人もいるかもしれません。

今年は近場でBCが楽しめるまたとないチャンスかと思いますので、主に初心者／初級者の人にとって手頃と思われる近場のエリアをいくつか紹介してみます。（今回は西中国山地エリアを紹介し、次号で備北山地エリア等を紹介したいと思います。）

BC用の特別なスキ道具（金具やシール）がない場合は、スノーボーダーたちが普通にやっているように、板を担いでスノーシューまたはワカンで登るという手があります。

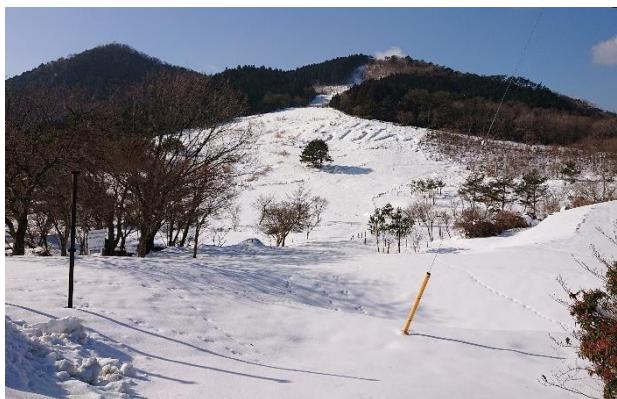
エリア紹介

①らかん高原

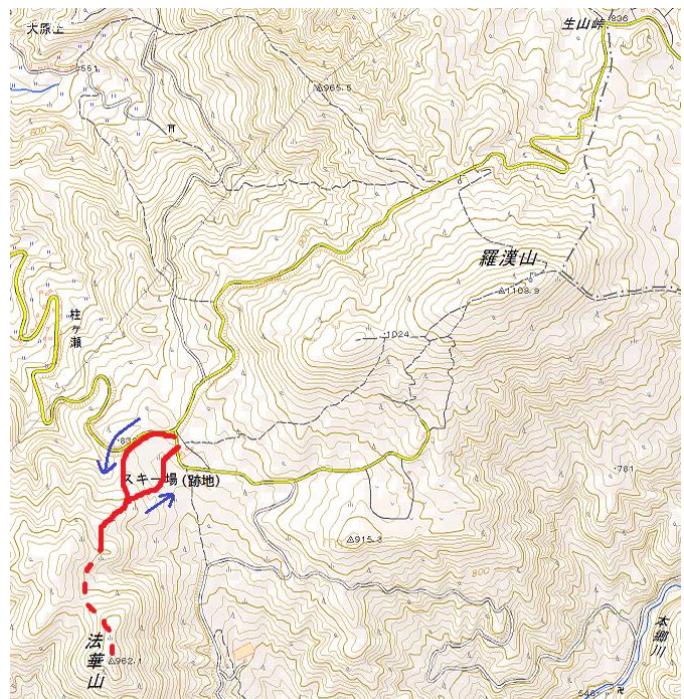
山口県岩国市になるが、広島市からは近い（広島市の中心部からは約50km、1時間半もあれば行ける）。広島／山口両県側で除雪もしっかり行われている。

羅漢山（1109m）の向かいにある法華山（962m）の山麓にはかつてシングルリフトが1基架かるスキー場があったが、今はリフトも取り払われている。ゲレンデ跡地は、文字やハートマークが浮かぶよう刈込がなされて整備されているようだ。中国山地でも南西寄りなのであまり積雪は多くないが、雪が積もると手頃なBCが楽しめる。雪が十分あれば、登山道沿いに法華山をスキーで登下降するのも難しくはない。スキー場跡地からの標高差は約150m。

なお、登りは跡地の北西側に広い登山道があるのでそれをたどり、跡地上部の植樹帯の南東側の端を通過していく。下りは跡地の文字やマークの刈込を避けて南寄りの斜面を滑るとよいだろう。



らかん高原スキー場跡地（2021.1.14）



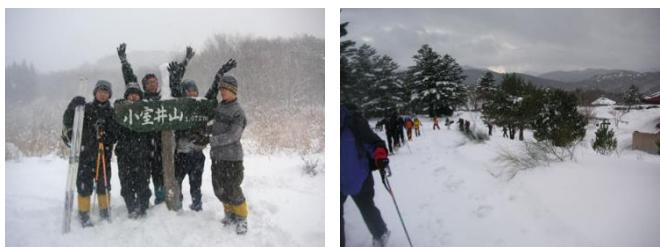
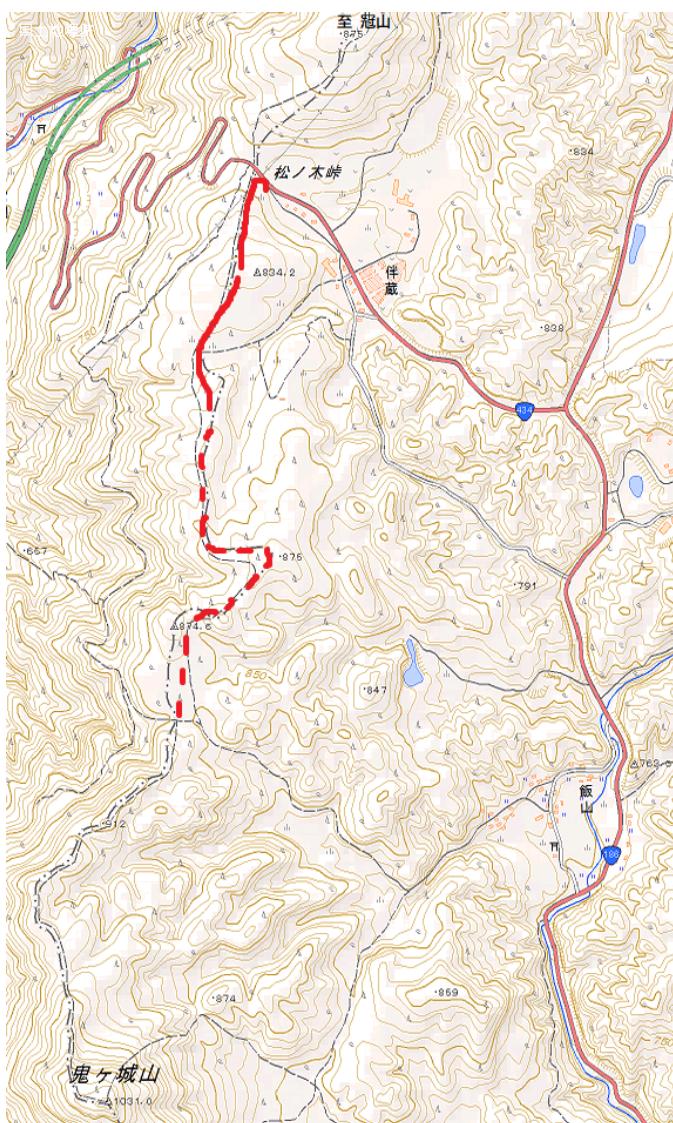
②冠高原

廿日市市吉和の冠高原（標高800m前後）も広島市中心部から近く（約55km）、しかも国道沿いである。かつてはロープ塔が設置されたスキー場だったが、廃業後20年ほどになるため、834ピークの小山にはかなりブッシュが茂ってはいるものの、山口県境沿いには比較的ブッシュが少ないスロープもあり、また834の南西側には開けたきれいな雪原もある。クロスカントリースキーなどの歩き系のスキーで散策するのもよい。北部エリアと比べると積雪はやはり少なめだが、まとまった降雪があれば楽しめる。

冠高原から鬼ヶ城山（1030m）までスキーで往復することもできるが、山頂近くではやや急な斜面もあるので、歩き系スキーではちょっと厳しいかもしれない。それでも874.6三角点南の広い鞍部までなら手頃だろう。鞍部一帯は植林の杉林がきれいな所もある。なお、875ピーク付近など、ルートファインディングには注意しなければならない。



834ピーク北側県境沿いと南西側（いずれも2015.1.18）



安芸高校登山部山行と中四国九州地区登山部顧問雪山研修

(2011.12.23 と 2012.1.7)



③もみのき森林公園

中国道吉和 IC から 10~15 分ほどのもみのき森林公園には T バーリフトの架かる小さなスキー場があるが、近年は積雪があってもリフトが稼働していないようだ。したがって圧雪も行われず、スキー場のスロープが格好の BC エリアとなる。

スキー場のほか、サイクリングロードを利用した一周 6 km のクロスカントリースキーコースもあるが、これも近年は圧雪されてないかもしれない。ちなみに XC スキーのレンタルは 3,000 円。

サイクリングロードからのバリエーションとして公園内最高峰の小室井山(1072m)に立ち寄ることもできるが、小室井山 BC はオートキャンプ場への分岐点から往復するのが簡単だ。遊歩道は林道のように広く、傾斜も緩やかなところが多いので、初級者でも楽しめるし、歩き系スキーでも楽しめる。

④恐羅漢山

県内最高峰である安芸太田町の恐羅漢山(1346m)は何といっても積雪豊富だ。他の場所がだめでもここでなら BC が楽しめることが多い。

一番手頃なのは、スキー場のリフトを利用しての山頂往復で、ちょっと慣れれば、夏焼峠方面に下ったり、旧羅漢まで往復してみるのもよい。

山頂に一番近いリフトはブナ坂であるが(リフトトップの標高は 1280m)、リフトは 2 本乗り継ぐ必要がある。カヤバタのリフトトップは 1230m であるが牛小屋高原まで車で上がればリフト 1 本で済む。カヤバタトップに戻るには平坦地の歩きが少しあるので、リフト方面への分岐をうまく見つけなければならない。

夏焼峠に下るには、夏焼の丘の登り返しが少しある。その手前で百本杉方面に下ることもできるが、谷の通過など、ルートファインディングに注意を要する。



雪の多かった2011年3月末日の恐羅漢山頂北斜面と山頂
(安芸高校登山部春合宿で)



⑤深入山

安芸太田町の深入山(1153m)は立木の少ないオープン斜面が広がっており、中国山地で最もBCに適した山の一つと言える。斜度がややあり、初級者には急と思われるかもしれないが、スキー場である程度滑れば、これほど楽しい山はない。国道沿いからアプローチできるのも嬉しい。

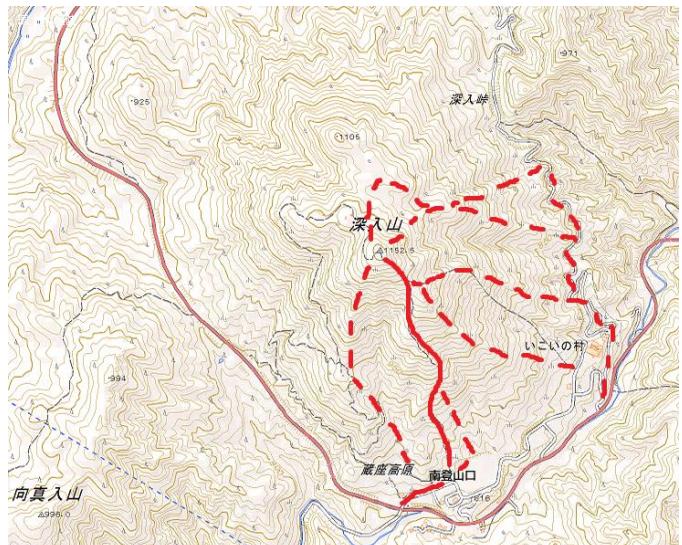
オープン斜面が広がっているだけに、コースは様々取れるが、初めての人がトライするには南登山口からの往復が無難だろう。

山頂まで登らずとも、南登山口付近の小ピークやいこいの村近辺のスキー場跡地辺りで練習するのもよい。

ただ、割と急斜面でオープン斜面であるため、大量の降雪後には特に谷筋で雪崩が発生することがあるので、その点は十分に注意したい。



南登山口からの草尾根コース (2021.1.4)



⑥八幡高原

広島県の西北端となる北広島町の臥竜山北麓の八幡高原は草原や湿原が広がるきれいな所であるが、冬には広々とした雪原となる。

積雪量も、県内アメダス観測地点の中では例年も多い(備北地方に積雪が多い時は「高野」が多くなることもあるが)。

冬期は高原内を東西に貫く道路は除雪されないが、北側の県道から高原中心部(高原の自然館前)に入ることができる。

高原は緩やかな起伏で、各々の斜面の距離も短く、本格的な滑降練習には適さないが、歩き系スキーの滑走練習にはぴったりであり、ウロコ板で登ったり滑ったりしながらスキーハイキングするのに最適である。

BCに慣れてくれば、すぐそばの臥竜山(1223m)も対象となるが、ツリーラン(林間滑降)のコースとなる。



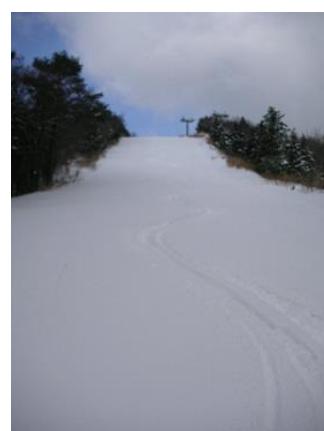
高原の西方には191スキー場が見える（2019.1.17）



⑦大佐山

国道186号線の島根県境のすぐ手前の大佐山(1069m)山麓に広がる大佐スキー場の下部ゲレンデは距離こそ短いものの広々とした斜面でリフトが何本か架かっており、初中級者の練習にぴったりであるが、最上部の里見尾根に架かるリフトは近年稼働されず、したがってそのゲレンデは恰好のB-Cエリアとなっている。斜度も緩～中斜面といったところで、初級者でも問題ない。元々がゲレンデであるから下にはマットも敷かれており、少ない積雪でも楽しめる。

さらに、ゲレンデは山頂の手前300mまで延びているから、山頂までの広めの切り開きを往復するのもよい。（昔は山頂の南西側にもよい斜面があったが、現在はブッシュが多くなってしまった。）



最上部の里見尾根ゲレンデ

(2013.12.15)

なお、中間部の急斜面がオープンしてなく下部ゲレンデのみオープンしているという場合もあるが、そのときは林間コース（地図の道路ライン）を登っていくと楽である。



⑧雲月山

北広島町の土橋にある雲月山(911m)は深入山同様きれいな草山で、冬には全面真っ白な姿になる。

ただ、冬期は雲月山登山口への道路は除雪されないので、土橋の集会所の前から歩かなければならない。

一番取つきやすいのは、登山口からすぐの岩倉山（遠見所山）で、そこからさらに高山、本峰へと足を延ばすのも難しくない。

本峰には登山口への車道から途中で分岐する林道から取り付くこともできる。

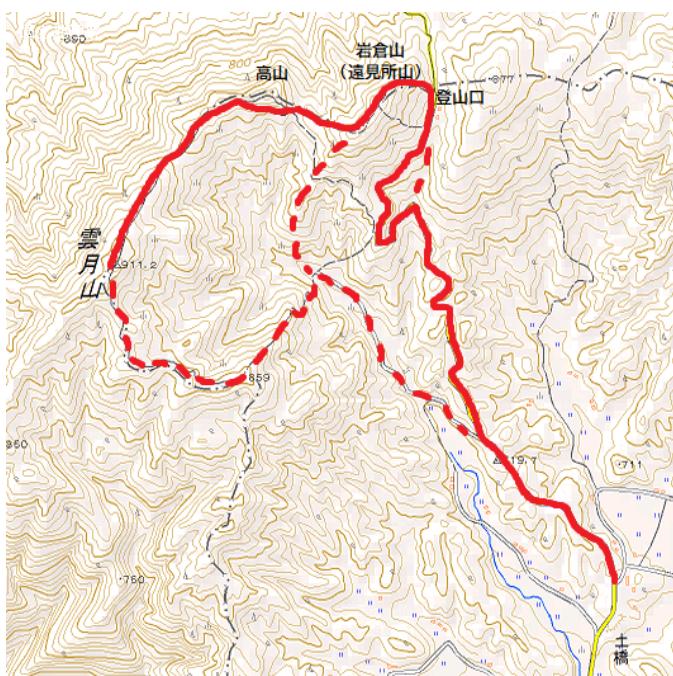
深入山同様、雪崩には注意しなければならない。



全面真っ白の雲月山（高山）（2011.1.23）



極端に雪が少ない雲月山も登山道沿いに滑走できることはない（2020.2.9）



⑨寒曳山

広島市内からも近く、小規模ながら緩急様々な斜面があり楽しいスキー場であった北広島町大朝のスノーパーク寒曳が2017-2018シーズンを最後に廃業となつたのは残念であるが、そのスキー場跡地がBCの練習場として活用できる。

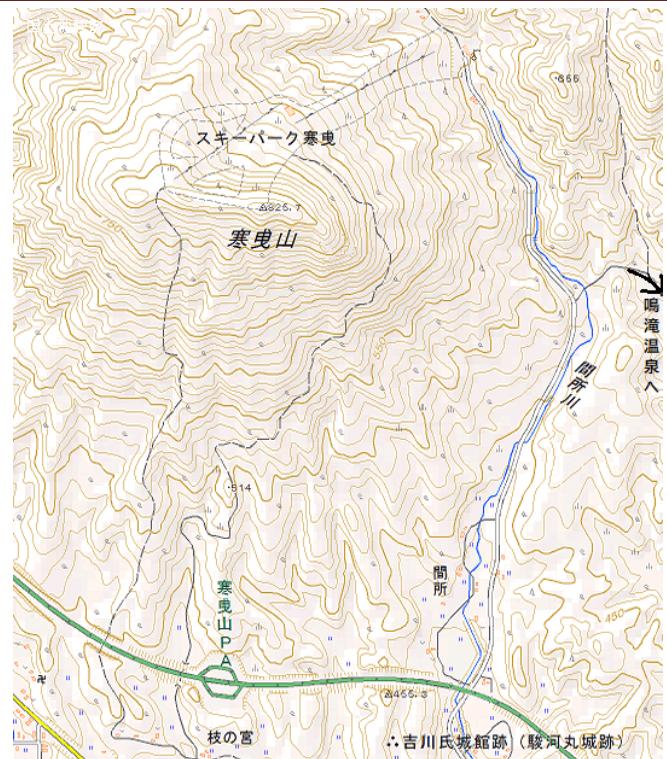
近くに鳴滝温泉もあるためか、廃業後もスキー場までの道路が除雪されるようだ。

スキー場のすぐ上には寒曳山(826m)があるが、駐車場からの標高差は約250mと手頃でもある。

標高が低いので積雪は多くはなく、廃業後に茂ったススキやブッショウが目立つが、それらが気にならないほどの積雪があれば、やはり良いスロープである。



廃業後の下部斜面と寒曳山（左奥）（2021.1.6）



6. 岳連短信

1. 寄贈御礼

三原山の会『筆影』No.490（1月号）

福山山岳会『会報』R3.1月号

広島山岳会『山嶺』第865号（R2.12月）

広島山稜会『峠通信』第738号・739号（12月・1月）

広島やまびこ会『やまびこ』No.775（1月）

『中信高校山岳部かわらばん』～第689号（1/11）

2. SC審判/ルートセッター資格更新研修会案内

2/21(日)の午後、広島市西区民文化センターで開催されます。参加申込締切は2/5です。詳しくは連盟ホームページをご覧ください。

編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽に寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しがあります。ご了承ください。

○会員団体で会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。隨時紹介します。

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせ下さい。